

2019年7月19日

各 位

本店所在地 東京都港区東新橋一丁目9番1号
会 社 名 ソフトバンクグループ株式会社
(コード番号 9984 東証第一部)
代 表 者 代表取締役会長 兼 社長 孫 正義

グロス・アクセレーション・ファンドの設立に関するお知らせ

2019年7月19日、当社海外100%子会社であるSoftBank Ventures Asia Corp. (以下「SBVA」) がジェネラル・パートナー (以下「GP」) を務める「Growth Acceleration Fund」 (「グロス・アクセレーション・ファンド」、以下「本ファンド」) が設立され、同日に、317,380百万韓国ウォン (269百万米ドル) の出資コミットメントを取得し初回クロージングを完了しましたので、お知らせいたします。

記

1. 本ファンドの趣旨

本ファンドは、アーリーステージのスタートアップ企業に対して、アジアを中心としてグローバルに投資を行うことを目的として設立されました。本ファンドへは、当社及び当社の海外100%子会社であるSoftBank Korea Corp. (以下「SBK」)、SBVAのほか、韓国年金機構などの複数の機関投資家が出資者 (リミテッド・パートナー) として参画しています。なお、本ファンドは今後6カ月以内に最終クロージングを見込んでいます。

2. 本ファンドの概要

(1) 名称	Growth Acceleration Fund	
(2) 所在地	19F, B Wing, Kyobo Tower, 465, Gangnamdae-ro, Seocho-gu, Seoul, 06611, Korea	
(3) 設立根拠等	韓国ベンチャー企業育成に関する特別措置法第4条の3の規定に基づくパートナーシップ (韓国ベンチャー・ファンド)	
(4) 設立目的	アジアを中心としたグローバルな投資活動	
(5) 設立年月日	2019年7月19日	
(6) 出資コミットメント (2019年7月19日現在)	総 額	317,380百万韓国ウォン (269百万米ドル)
	内 訳	当社 : 166,430百万韓国ウォン (141百万米ドル) SBK : 6,000百万韓国ウォン (5百万米ドル)

		SBVA：4,500 百万韓国ウォン（4 百万米ドル） その他：140,450 百万韓国ウォン（119 百万米ドル）
(7) ジェネラル・ パートナー	名 称	SoftBank Ventures Asia Corp.
	所在地	19F, B Wing, Kyobo Tower, 465, Gangnamdae-ro, Seocho-gu, Seoul, 06611, Korea
	代表者	Joonpyo Lee
(8) 投資期間		初回クロージングから 4 年間（原則）
(9) 存続期間		初回クロージングから 8 年間（原則、最長 2 年延長 オプションあり）
(10) 当社との関係	資本関係	出資コミットメント総額に対して、当社が 52.44%、 SBK が 1.89 %、SBVA が 1.42%の出資を合意してい ます（2019 年 7 月 19 日現在）。
	人的関係	SBVA の親会社である SBK に、当社から取締役 2 名 を指名しています。
	取引関係	該当事項はありません。

3. 今後の見通し

SBVA が GP として本ファンドの投資意思決定等の権限を有することに加えて、本ファンドの出資コミットメント総額に対し、当社及び SBK、SBVA が相当の出資割合を有していることにより、会計上、当社が本ファンドを支配していると判断されるため、本ファンドは当社の連結子会社となります。このため、本ファンドの業績及び資産・負債は当社の連結財務諸表に取り込まれます。本ファンドによる投資は原則として毎四半期末に公正価値で測定し、その変動額は連結損益計算書上に計上されます。具体的な影響額については必要に応じて開示を行います。

（注）本資料における米ドルの価額は 1 米ドル=1,178.6 韓国ウォン（2019 年 7 月 18 日時点）で換算

以 上

*****本件に関する報道関係のお問い合わせ先*****

ソフトバンクグループ株式会社 広報室 03-6889-2300

本資料は、当社の活動に関して一般に公表するためのものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、本資料は、日本、米国その他の地域における本ファンドの持分その他の証券の購入又は応募の勧誘を構成するものではなく、また、米国内においてまたは米国人（米国 1933 年証券法に基づくレギュレーション S にて定義されます）に対し、本ファンドの持分の取得の勧誘または販売が行われるものではありません。本書記載の情報は予告なしに変更されることがあります。本書には将来に関する見通しが含まれていることがありますが、これは一定の前提に基づくものであり、様々な既知または未知の不確定要因及びリスクにより、実際の結果は、本書に記載され、または示唆された内容とは著しく異なる可能性があります。いかなる前提も実際に起こる事象を示唆するものとして解釈されるべきものではありません。